

- **管 内** 胆振管内
- **分 類** 生活安全 交通安全 災害安全
- **教育課程** 教科（社会科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動 その他
- **校 種** 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- **取組のポイント**

- 「地域安全マップづくり」の学習をサポートする指導員の養成と授業での協力
- 保護者の協力を得た「地域安全マップ」の作成

取組の実際

ねらい

- 保護者や地域の方の協力による地域安全マップの作成を通して、児童に危険回避能力を身に付けさせるとともに、地域ぐるみの安全確保を推進する。

内 容

1 「地域安全マップ指導員」の養成

「子どもの安全サポートボランティア」では、平成20年度から毎年、4年生が社会科の授業で行う「地域安全マップづくり」の学習をサポートするために、「地域安全マップ指導員」の養成研修会を開催している。



指導員による説明の様子



保護者によるマップ作りの様子

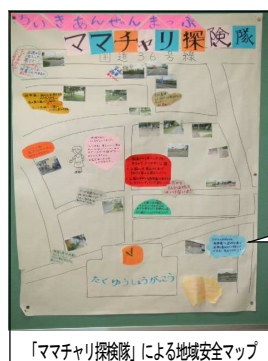
地域安全マップの基本的な作り方を学ぶ保護者や地域の方が増えることにより、通学路等の危険に対する認識が高まるとともに、安全確保に向けた環境づくりが進んでいます。

2 保護者による「地域安全マップ」の作成

小学校のPTAでは、児童が様々な交通場面に存在する危険について理解を深めることができるよう、「ままさん見守り隊」や「ママチャリ探検隊」を立ち上げ、保護者ならではの視点に基づいた「地域安全マップ」を作成している。



「ままさん見守り隊」による地域安全マップ



「ママチャリ探検隊」による地域安全マップ

毎月「情報交流会」を開催し、通学路の危険箇所や子どもの危険な行動などについて共通理解を図っています。交流された情報を基に、保護者が区域ごとに実際に歩いたり、自転車で走行したりしながら、通学路等の危険箇所を確認し、「地域安全マップ」の作成に生かしています。

成果と課題

- ボランティアによる「地域安全マップづくり」の学習へのサポートや保護者による「地域安全マップ」の作成により、児童の危険回避能力の育成とともに、地域ぐるみの安全確保を推進することができた。
- 交通安全に対する適切な意志決定や行動選択ができるよう、「地域安全マップ」を活用した交通安全指導を実施するなど、体験型の交通安全教育を工夫する必要がある。